

特集

女が変える ガンバル山口

近年、女性のグループが開発した商品が大きな反響を呼ぶなど、女性の活躍に多くの期待が集まっています。そこで今回は、「女性の力で山口が元気になる」をテーマに、山口県にゆかりのあるガンバル女性にご登場いただきました。

Q これまでの活動内容を教えてください。

「地域を愛し、次世代を育て、自分たちも元気に！」をモットーに、良いと思ったことはどんな形にしています。これまでの活動内容は大きく3つの柱があります。まず「とくやま元気隊〇(えん)」を創立して、地域資源の発信活動を始めました。2番目は、今春から



とくやまの ビッグママ

おとらかずみ

大寺和美さん(周南市)

とくやま元気隊〇(えん)代表・周南市東辻自治会長

Q 自治会長をされていますが、どういう印象ですか。

三年任期の自治会長は、「地域年金付きますかねえ？」なんて冗談を言いながら引き受けました。自治会は、考え方

自治会長として、多様な改革を行いながら、健康づくり、異年齢交流事業を展開中です。3番目にフラダンススレインボー倶楽部チャリティ事務局として、収益金で既に車両3台を市内の福祉施設に贈り、震災義援金は100万円以上寄託。今年10月には、福島へ15名で直接届けます。

活動を支える元気の源は、「一人ひとりの元気がまちの元気を創りだす」という確固たる信念に基づいた人づくりです。仲間と共にやりたいこと、やらねばならないことを、知恵と汗を搾り出し、実現していきます。

私は、グループにミッションを提案します。そうすると、人の中のモチベーションが上がって芯棒が立つんですね。Mission、Passion、Actionをうたい文句に元気な声で頑張っています。

Q これまでに男女の差を意識されたことはありますか。

普段の生活の中で男女差を強く感じたといえば、市の審議会の公募委員の人数が、3席あったら男性が2人で女性は1人だったり、名簿の順序も男性からで、女性は後だったりしたことです。私は、女性がリーダーシップをとるのが当たり前で育った環境のせいかな、とても不思議に思え、あいうえお順にと提案しましたよ。